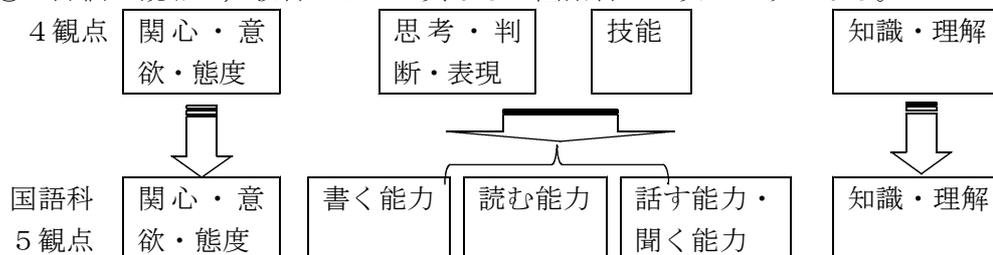


## 高等学校国語科指導案作成について

今回の改訂にあたり、文部科学省の視学官から示された内容に沿って学習指導案例を作成してみました。今後の参考にしてください。

### ◆基本的な考え方

- ① 国語科では、書いたり、話したり、聞いたり、読んだりする言語活動を通して指導し単元の目標を達成する。教師は目標達成にふさわしい題材と言語活動を選ぶ。
- ② 単元の目標は、各科目の指導事項であり、それを1年間を通じて、1度は指導する。
- ③ 1単元については、1領域（「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」のうちいずれか1つ）とする。
- ④ 評価の機会、計画の1次において1度でよい。
- ⑤ 評価は、設定した目標を達成したかどうかを、観察や分析によって評価する。その評価規準（「目標の実現を図るため意図的計画的な指導によって、全ての生徒が身に付けるべき資質・能力を、各観点ごとに示したもの」）は年間計画において単元ごとに意図的に設定する。そのため単元の評価は、観点別評価となる。
- ⑥ 評価の観点、教科によって異なるが国語科では次のようになる。



- ⑦ 評価は単元ごとに行う。提出物などは、その単元の評価時における評価材料となる。  
指導案例に沿って説明すると、ここでの単元の目標は「読むこと」なので、教師は授業中に書かせたものや話合いの様子などを見て、「読むこと」ができているかどうかを判断し全員の評価を行う。ただし、本時の評価規準は「知識・理解」であり、記述の点検を通して評価を行うことになる。単元終了時には、計画の次において行った評価の平均を単元の評価とする。また、学期末には、それまで指導したいくつかの単元の評価を平均し、例えば5段階で評価する。（定期テストも観点別に設問を設けて、5段階の評価を行うことも考えられる）さらに、学年末には、単元の評価と定期テストの平均を科目の評価とする方法や、単元の平均ではなく、指導事項の最終の単元の評価を学期の評価とする方法も考えられる。
- ⑧ 定期テストは、授業で使用した教材と同じものを出す必要はない。  
例えば、下記の指導案例では、その大体の内容を読み、構成や展開を読みとり、和歌の修辞法を理解することが目標である。よって、同程度の難易度の歌物語を出題することで「読む能力」や「知識」が身に付いたかどうかは問えることになる。

### ◆学習指導案作成にあたっては以下の点に注意してください。

- 1 各科目の指導事項を単元の目標とすること。
  - ・単元の目標は、学習指導要領の各科目の内容にある(1)指導事項を参照して書くこと。
  - ・学習指導案の単元の目標には、「関心・意欲・態度」、「○○能力」、「知識・理解」の3点を記載すればよい。
  - ・「関心・意欲・態度」の記載は、「○○能力」の末尾を「ようとしている。」と書けばよい。
- 2 単元で行う主な言語活動を記載すること。
- 3 評価を考える場合、評価の機会、1次または1単元に1回でよい。
- 4 目標や評価は実際に、その時間でできることを考えて書くこと。
- 5 「関心・意欲・態度」と「知識・理解」だけの時間があってもかまわない。

# 国語科（国語総合）学習指導案 例

- 1 履修単位数                    5単位のうち古典2単位                    指導者    ○○ ○○ 印  
 2 実施日時                    平成    年    月    日( )    第    時限  
 3 学                    級                    HR    (    名)  
 4 使用教科書  
 5 単元(題材)名                    歌物語    ( 『伊勢物語』あづま下り    )  
 6 単元設定の理由

〔生徒の現状などの生徒観を記し、それと関連させて単元設定の理由を記す。短くてよい。〕

7 単元の目標 領域【読むこと】

- ・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりしようとする。こと。(関心・意欲・態度)
- ・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりする。(読む能力(「C読むこと」の(1)のエ))
- ・国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解する。  
(知識・理解)〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の(1)のイの(ア))

8 取り上げる言語活動(学習活動)

必ず記載

教材の構成や内容を考え、グループで話し合いながら双六にすること。(「C読むこと」の(2)のア)

9 単元の評価規準

- A 文章の構成や展開を確かめ、心情や情景が効果的に表現できているかどうか考察しようとしている。(関心・意欲・態度)
- B 文章の構成や展開を確かめ、心情や情景が効果的に表現できているかどうかを考察している。(読む能力)
- C 歌物語における和歌の修辞や、語句の使い方について理解している。(知識・理解)

10 指導計画 (次ごとに学習活動と評価規準を書いてください。)

次の分け方は任意。評価は一次に一度。

次	学 習 活 動	評価の規準と方法
1次 2時間	文章の構成や展開を読みとる。内容を読みとり構成が分かるように表にまとめる。(グループ) ○ 本時1/2時間目	評価規準 C 「記述の点検」
2次 2時間	文章の構成や展開を確認する。双六を作成(グループ活動) 本文に照合し検討、修正をする。	評価規準 B「文章の構成をつかめている」 「行動の観察」
3次 2時間	他のグループが作成したものを実際に行い、人物と心情が分かりやすく書かれているか考える。 グループでの話し合いの結果を持ち寄りクラス全体で考える。	評価規準 B 「記述の分析」
4次 1時間	単元を通して学んだ文章のテーマとその展開や構成、表現効果について自分の考えをまとめる。	評価規準 A 「記述の分析」

11 本時の目標と評価規準

文章を読み、脚注や現代語訳を参考にしながら文章の大体の内容をとらえるとともに、語句や和歌の修辞などについて理解している。(知識・理解)

12 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における具体の評価規準と実際	評価方法
導入 5分	本時の目標を確認し、学習課題をつかむ。	目標が徹底できるよう目標を板書する。		
展開 40分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1 音読する</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣いに注意しながら音読する。</li> <li>・意味が不明な語句を抜き出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範読の後に音読させる。</li> <li>・意味がわからない語句をワークシートに抜き出させる。</li> </ul>	「知識・理解」 ・大体の内容をとらえ人物相互の関連を理解している。	記述の点検
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2 内容の大体を把握する</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代語訳を利用して、教材文の内容の大体を把握する。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抜き出した語句の意味を、辞書を用いながら確認する。</li> <li>・和歌の修辞について調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不明な語句の意味をワークシートに書かせる。</li> <li>・調べた修辞についてワークシートに書かせる。</li> </ul>	「知識・理解」 ・抜き出した語句の意味や和歌の修辞を理解している。	記述の点検
			<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">           Cの生徒への指導の手立て            内容の大体をとらえられていない生徒には、脚注や現代語訳を丁寧に読むように指示する。         </div>	
			<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">           Cの生徒への指導の手立て            辞書の使い方が分からない生徒には引き方を指導し、和歌の修辞をとらえられていない生徒には、個別に分かりやすく丁寧に指導する。         </div>	
まとめ 5分	本時の学習内容を確認する。	グループ活動であることを予告する。		

(注意)

- 点線の枠囲み「Cの生徒への指導の手立て」の作成はできるだけ書いてください。
- 目標と評価は、必ず対応させてください。
- 指導計画は、簡単な記述でかまいませんが、評価の規準や方法についても記入してください。

